

こんにちは。今年の夏は、命にかかわるような暑さでしたが、皆さんは無事に乗り越えられましたでしょうか。政治家には本気で温暖化問題と取組んで欲しいものですね。温暖化を止めようとすると経済活動も止まるというのは、分からないではありませんが、だからと言って私たちはこのまま、自らを絶滅危惧種に追いやってしまう訳にはいきません。学者の中には「もう手遅れだ」という意見と「今が最後のチャンスだ」という意見がありますが「まだ大丈夫だ」という意見はありません。どうやら私たちは遠くに来すぎてしまったようです。

さて、今日ご案内するお芝居は、「今どうしてもやっておかなくては!」という強い思いで上演を決めた作品です。ブライアン・クラフという劇作家が国の核所有の是非をめぐる問題と、夫婦の愛の問題を見事に融合させた傑作ドラマです。ずっと以前にも上演しましたが、今回はキャストも演出家も一新し、僕自身も、核という強烈なテーマに引きずられ過ぎる事なく、夫婦愛というテーマをしっかりと見つめながら、前回とは違うアプローチをしたいと思っています。

きっと皆様の周りでも、毎日のように報じられる戦争の事や、大国の権力争いの事が話題になっていると思います。でも、このお芝居は決して怖い内容ではなく、心温まる感動のドラマに仕上げたいと思っていますので、是非応援していただきたく、伏してお願い申し上げます。

や〜辰、健 —

追伸 この度「東京堂出版」が、僕の役者人生をまとめた『芝居狂・役者・加藤健一』という本を出版してくれる事になりました。著者は演劇評論家の中村義裕氏です。お読みいただければ、こんなに嬉しい事はありません。『請願』の初日から劇場で先行販売をさせていただきます。

感謝